

ProMED-mail 情報 2014年 10月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	鳥インフルエンザH5N1 インドネシア	H5N1鳥インフルエンザ感染者は世界で197例。うち165例が死亡。今月、ジャカルタSardjito病院で2例の死亡例報告。インドネシアは、世界で最も感染者が多い。
27日	MERSコロナウイルス サウジアラビア	2011年以降、MERS罹患772例中329例死亡。ラクダがウイルスの主な媒介動物であることが判明し、MERSコロナウイルスの蔓延に対抗するため、ラクダにワクチン接種を検討。
26日	エボラウイルス USA	犬、猫にエボラウイルス感染報告例はない。しかし、ペットが他の人やペットにウイルスを拡散する可能性があるため、スペインではペット犬を安楽死処分。USAではダラス動物サービスに隔離されて、エボラウイルス検査陰性。
26日	高病原性鳥インフルエンザ 中国	先月、H5N3新亜型のアヒル1羽、H5N8新亜型のアヒル2羽、H5N1再興型の鶏、アヒル、カモ18羽の感染報告。中国ではH5高病原性鳥インフルエンザに5つの亜型の感染例報告。今回は感染した鳥に対して無処置。
22日	外来蚊 デンマーク	modestusイエカがデンマークで初めて発見。このイエカはウエストナイルウイルス(WNV)の効率的なベクターであり、この蚊の存在が判明している北欧、英国においてWNV感染拡大が懸念。
19日	マラリア インド	国民人口の8%を占める部族社会地区の3割で、インドの全マラリア感染例の46%と全マラリア死亡例の47%が発生
19日	鳥インフルエンザH7N9 台湾	中国北京、新疆で発症したH7N9鳥インフルエンザ人感染2例を受け、中国（ホンコン、マカオを除く）への渡航を警告レベルに強化。
11日	ボツリヌス菌 USA	カルフォルニアオリーブ&ワイン社は同社が製造した瓶詰めペースト（パンプキンシード）にボツリヌス菌を検出。全世界に販売された同製品を自主的に回収。健康被害報告は、今のところ無し。
9日	ロスリバー熱 オーストラリア	今年度152例のロスリバーウイルス(RRV)感染が国内で報告。オーストラリアで媒介蚊が豊富な雨季に散発的に発生。RRVはヤブカ、イエカを含む広い種類の蚊による人獣共通感染アルファウイルス。
6日	鼻疽 全世界	鼻疽は古くから馬の感染症として知られ、鼻疽菌を病原菌とする人獣共通感染症。世界的な馬の流通による新たな再興感染流行やバイオテロのリスクもあり。
5日	ペスト 中国	甘粛省で2人のペスト感染死亡。1人は羊飼いの牧夫で、その男性と密接な接触を持っていた41人は、医療観察下に置かれ、村も隔離された。もう1人はモーマセットと接触あり。モーマセットは東アジアでペスト菌の一般的保菌動物。
5日	百日咳 USA	コロラド州Weld地区で今年度116例発生。地区内の7つの学校で流行。最善の予防はワクチン接種だが、ワクチン免疫期間は短い。
4日	住血吸虫症 フランス	2013年8月コルシカCavu川で数回泳いだドイツ人家族4人中3人がビルハルツ住血吸虫に感染。家族全員にpraziquantel投与。
1日	鳥インフルエンザH5N1 エジプト	9月22日、今年度4例目の確定診断例。3か月、女兒。死んだ鳥との接触歴あり。タミフル投与され経過安定。